

課題研究**座長集約**

東北大学医療技術短期大学部

千田 浩一

本研究は、「デジタル動画像」という、今まさにホットな話題を持つもので、今回の研究会シンポジウムのテーマともオーバーラップする内容となっており、それだけに現在最も関心の高い分野の一つと位置付けられていると考えられる。本研究は全循研の課題研究に選ばれた演題であり、研究期間は2年、今回はその一年目における中間報告となる。今回はデジタル動画ネットワークの現状という点に的が絞られた内容となっている。扱う対象が動画であるだけに難しい問題を多く含んでいるし、また新しい技術、方式が入り乱れている中ではあるが、それらを含め丁寧に解り易く比較した発表内容であった。今回の発表は主としてユーザーの立場からまとめられたものであり、現在、動画ネットワークシステムの導入を計画している施設においては、とても有用な情報になったと思われる。また、デジタル動画ネットワークで用いられている各種用語についても、わかり

やすくまとめそして解説して頂き、多くの全循研会員にとっては知識の整理になり役立つ内容であった。

一方でデジタル動画ネットワークについて、今まであまり馴染みの少なかった会員においても、今回の発表によって今後それについて取組み易くなったものと思われる。今回の中間報告は、デジタル動画ネットワークの問題点を洗い出す土台となったものである。次年度はその問題点を突き詰める研究へと進んで行くものと思われるが、更にその問題点の改善策についても議論し研究を進展させて頂くことを願う。本研究はユーザー研究員およびメーカー研究員から構成されており、研究課題の性格上、まさに好都合なメンバー構成である。全循研だから行い得る企画であるとも考えられ、次年度は更に素晴らしい成果を挙げることを期待する。